

第8回（通算第14回）八大学工学部長会議議事録

日 時 平成30年9月28日（金）9:16～11:27

場 所 ホテルメルパルク大阪3階「ボヌール」

出席者 (北大)増田隆夫工学部長、(東北大)長坂徹也工学部長、(東大)大久保達也工学部長、(東工大)岩附信行工学院院长、(名大)水谷法美工学部長、(京大)大嶋正裕工学部長、(阪大)田中敏宏工学部長、(阪大)狩野裕基礎工学部長、(九大)久枝良雄工学部長

陪席者 (東北大・工学部)安藤晃教授、(北大・工学系事務部)勝山憲明事務部長、桃山光樹総務課長、(東大・工学系・情報理工学系事務部)稲垣博明事務部長、平野裕士総務課長、鈴木俊祐総務係長、(東工大・大岡山第二事務区)滝澤道重事務長、(名大・工学研究科事務部)大矢淳一事務部長、山田明子総務課長、成田吉伸総務係長、(京大桂地区(工学研究科)事務部)疋田覚事務長、長谷川敏之教務課長、(阪大・工学研究科事務部)服部圭一総務課長、村上雅彦課長補佐、(阪大・基礎工学研究科事務部)杉山真一事務長

事務局 石原直事務局長

注 記 工学部長会議の回数は、一般社団法人として第8回、連合会として通算第14回となる。

議 題

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 平成30年度第1回運営委員会報告
- (3) Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告
- (4) 豪州 Group of Eight (Go8)との連携について
- (5) 第6回日英工学教育ワークショップの実施報告

2. 協議事項

- (1) 平成30年度博士フォーラムの実施計画について
- (2) JIRA-8UEA 連携事業の推進について
- (3) 就活問題への対応分科会の推進について

3. その他

- (1) 今後の予定について

配布資料一覧

資料1 第7回(通算第13回)八大学工学部長会議議事録(案)

資料2 平成30年度第1回運営委員会議事録(案)

資料3 Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告(東工大・東大)

資料4 豪州 Group of Eight (Go8)との連携について (北大)

- 資料5 The 6th UK-Japan Engineering Education League Workshop (九大・東工大)
- 資料6 平成 30 年度博士フォーラム実施計画 (東大)
- 資料7 JRIA との連携の推進について (提案・分科会)
- 資料8 就活問題への対応分科会の進め方について (案・分科会)
- 資料9 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)

議 事 要 旨

開会の辞

定款施行細則第 4 条に基づいて議長を務める水谷会長から開会の挨拶があった。

日程説明及び配布資料確認

石原事務局長から会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

出席者紹介

水谷議長より出席者の紹介があった。春と同じメンバーなので自己紹介は省略した。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認 (資料 1)

資料 1 により、今春 4 月 20 日に東京にて開催した第 7 回 (通算第 13 回) 八大学工学部長会議議事録 (案) を確認の上、承認した。

(2) 運営委員会活動報告 (資料 2)

水谷議長から資料 2 に基づき、7 月 20 日に開催された今年度の第 1 回運営委員会の議事録が紹介された。春の工学部長会議からのオーダーを中心に、工学教育に関する国際活動の報告や計画、博士フォーラム、達成度調査に代わる新事業、提言活動の進め方などが議論され、案件は全て今日の議題なっているのでこの後の議論で参考にされたい旨の説明があった。

(3) Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018) 開催報告 (資料 3)

東工大・岩附先生より資料 3 を使って 5 月 21 日～23 日に東工大・大岡山にて開催した「Asian Engineering Deans' Summit (AEDS2018)」の実施報告があった。アジア、豪州と国内から 32 大学、74 名の参加があり、工学教育をテーマに活発な議論が行われたことが報告された。次回は台湾で開催される (日程未定) 予定である。(事務局注記：後に、2019 年 5 月 29 日 (水)～31 日 (金) に台湾大学で開催との連絡あり。)

(4) 豪州 Group of Eight (Go8) との連携について (資料 4)

北大・増田先生から資料 4 を使って「Go8 との連携」についての状況報告があった。前項報告の AEDS2018 の最終日の夕刻を利用して、「Go8-8UEA 連携キックオフミーティ

ング」を開催し、そこで各八大学に実施したアンケートの結果が報告された。また、その後、日本工学アカデミーとの連携を模索していることが報告された。引き続き北大に世話係をお願いして検討を継続することとした。

(5) 第6回日英工学教育ワークショップの実施報告（資料5）

東工大・岩附先生から簡単な背景説明の後、九大・久枝先生から資料5を使って9月3日～5日に九州大学で開催した第6回日英工学教育ワークショップの開催報告があった。日英両国から教員、学生合わせて79名の参加があり、学生のショットガン発表・ポスター発表、招待講演と教員ディスカッション、見学会が実施され、活発な議論があった事が報告された。次回は、来年9月上旬に Queen Mary University London で開催される。

2. 協議事項

(1) 平成30年度博士フォーラムの実施計画について（資料6）

東大・大久保先生より資料6を使って平成30年度博士フォーラム実施計画の説明があった。今年は10月12日に東大・本郷キャンパスにおいて、学生から「博士課程へ進学した理由」や「博士課程へ進学しない理由」等の話題提供をしてもらって議論することとしており、例年より早い時期の開催であるところから既に各校からの参加者の登録は完了していることが報告された。

(4) JIRA-8UEA 連携事業の推進について（資料7）

まず、水谷議長より、昨年の八大学提言「高度工学系人材育成への企業の参画と支援」に対して、研究産業・産業技術振興協会（JRIA）より「産業界にとっても重要な提言なので連携して提言フォロー活動をやりたい」との提案があり、7月の第1回運営委員会において今年の提言分科会テーマとして「JRIA と連携した前年度提言のフォローアップ」を取り上げることとして9月11日のJRIAとの意見交換会に臨んだとの経緯説明があった。また事務局より、資料7に基づいて、連携のスタンス、JRIAとの意見交換の状況、分科会の今後の作業予定などの説明があった。報酬等の事業資金の問題、人材は企業OBに限らず企業現役も対象になどの議論を行った後、工学部長会議としては午後の研究科長等会議に本連携事業の推進を提案し承認を受けることとした。

(3) 就活問題への対応分科会の推進について（資料8）

今年度の新たな分科会テーマとして取り上げた「就活問題への対応」について、水谷議長と事務局から資料8を使って説明があった。分科会テーマとして取り上げた経緯と理由、分科会としての活動方針、検討事項の取りまとめ結果、アクション案などが説明され、次のような議論を行った（主な論点を抜粋）。

- ・経団連の問題提起以降、各方面での議論の論点が「(就活解禁) 時期問題」に矮小化されてしまうことが危惧される。解禁時期論では何の解決にもならない。
- ・工学系以外の議論を見ると八大学の議論は対象範囲の限定が必要だろう。工学系の中でも分野による違いには留意が必要。

- ・ 議論のテーブルに載せてもらうためには、問題提起で良いので、早めに八大学から社会、産業界へメッセージ発信することが必要だろう。
- ・ 課題は「就活期間の短縮」。学生の実績・成績重視の採用は期間短縮に効果が大きい筈。
- ・ シンポジウム開催にトライしたい。議論の対象を修士(含めても博士)に絞るのが良い。
- ・ 現在、特に大きくて深刻な「インターンシップ問題」を取り上げないといけない。そこでは情報系インターンシップ、海外のインターンシップをちゃんと調べること。

以上の議論を経て、「工学系大学院に範囲を限定して、就活が大学院教育・勉学・研究の時間を如何に阻害しているかという教育現場の実態を訴えるシンポジウムを年内目途に開催すること」に合意し、午後の研究科長等会議に提案することとした。

4. 今後の予定について

- (1) 次回の常設会議について、幹事校の東工大・岩附工学院院长より、平成 31 年 4 月 19 日(金)、KKR ホテル東京にて開催予定とのアナウンスがあった。
- (2) 次々回の常設会議について、幹事校の京大・大嶋工学研究科長より、来年 9 月 27 日(金)に京都ホテルオークラにて開催予定とのアナウンスがあった。

以上をもって第 8 回八大学工学部長会議の終了を水谷議長が宣言し、事務局長より午後の 13 時 30 分より、5 階の「カレーナ」において「第 136 回八大学工学関連研究科長等会議」が開催される旨案内があった。

以上